

行程表(案)

資料1

日次	月日	地名	現地時刻	交通機関	行程	朝食	昼食	夕食
1	10/19 (日)	成田空港	20:30 22:30	EK319便	各自、空港集合 エミレーツ航空にて空路でドバイへ			
2	10/20 (月)	ドバイ空港 ドバイ	4:50 午前 午後 夜	専用車 専用車 専用車	到着後、入国審査 ホテルへチェックイン ⇒ 朝食 【観光】『アル・ファヒディ歴史地区』 アラブの古き良き時代へタイムスリップ 【昼食】市内レストランにて地元の伝統料理のランチ 【視察】『未来博物館』にて近未来をテーマに展示とドバイの未来ビジョンを体験 一度、ホテルへ戻り休憩 【夕食】『Bice Mare』にてイタリアンのウェルカムディナー ドバイ(泊)	ホテル	市内レストラン	市内レストラン
3	10/21 (火)	ドバイ	午前 午後 夕方～夜	専用車 専用車	【視察】『ドバイ未来財団』にて未来都市開発におけるドバイの取り組みを視察 【観光】ドバイフレーム(入場)、自動運転メトロ乗車体験、スーク など 【昼食】市内レストランにてアジア料理のランチ 【視察】ジェトロ・ドバイ事務所 【夕食】『Al Hadeerah』にてデザートサファリとアラビアンナイト体験 ドバイ(泊)	ホテル	市内レストラン	市内レストラン
4	10/22 (水)	ドバイ	午前 午後 夜	専用車	【視察】在ドバイ日本国総領事館 【昼食】市内レストラン 【視察】『ドバイ商工会議所』にて現地企業との意見交換会 【観光】ブルジュ・ハリファ展望台・ドバイファウンテン・お買い物(ドバイモール) 【夕食】『Prime68』にてディナー ドバイ(泊)	ホテル	市内レストラン	市内レストラン
5	10/23 (木)	ドバイ エジプト	午前 12:00頃 15:15 18:05	専用車 EK923便 専用車	【視察】『ナキール社』パームジュメイラ開発を手掛けた大手不動産会社を視察 ドバイ空港到着(各自、昼食) ドバイ空港から、空路でエジプト・カイロへ 入国手続き後、ギザへ移動 【夕食】市内レストラン又はホテル内レストラン エジプト・ギザ(泊)	ホテル	—	市内レストラン又はホテル
6	10/24 (金)	エジプト	AM 午後 20:05	専用車 EK924便	【観光】クフ王のピラミッド/スフィンクス 【昼食】市内レストラン:ピラミッドが見えるレストラン 【観光】『大エジプト博物館』又は『カイロ考古学博物館』へ カイロ空港へ移動 空路にてドバイ国際空港へ	ホテル	市内レストラン	—
7	10/25 (土)	ドバイ空港 成田空港	0:40 2:40 17:35	EK318便	空路、帰国の途へ 到着後、解散	機内	機内	—

主な視察先

ドバイ

未来博物館

The Museum of the Future

オープン前から『ナショナル・ジオグラフィック』で世界一美しい建造物のひとつに選出されるほど大注目のスポット。建物には柱が一切使われておらず、湾曲した建物のファサードは1024個のパーツが高度な技術によって組み上げられていることから、「工学的にも奇跡」と称賛されています。アラブ首長国連邦建国100周年の2071年を舞台に、持続可能な未来に向けて「宇宙旅行」や「気候変動」「生物多様性」「ウェルビーイング」「スマートシティ」など様々な観点から最新技術を体感できる施設となっています。



ドバイ未来財団

Dubai Future Foundation

ドバイ政府が2016年に設立した、イノベーションと未来テクノロジーの推進を目的とする組織「ドバイ未来財団」。ドバイの”未来都市開発”をけん引する存在として、世界中の先端技術、未来予測、スマートシティ開発などに焦点を当て、持続可能な未来社会の実現に寄与することを目指し、イノベーション・エコシステム構築の強化やスタートアップ企業の育成などを進めています。2023年には日本科学技術振興機構（JST）と共同研究開発連携についての協力覚書を締結するなど、日本との関りも深い組織です。当日は当財団から設立の目的と取組状況等についてレクチャーいただきます。



ジェトロ・ドバイ事務所(ドバイ日本商工会議所)

ジェトロ・ドバイ事務所は、アラブ首長国連邦(UAE)をはじめとする中東湾岸諸国と日本との経済・貿易関係の強化を目的に、1981年に設立されました。UAE、クウェート、バーレーン、カタール、オマーン、イラク、イエメンの7カ国を管轄し、同地域への輸出や投資を考える日本企業や既進出日系企業への情報提供のほか、市場動向・法制度等の調査、国際見本市での日本パビリオン運営、国際会議開催等の活動を行っています。ドバイ日本商工会議所は2009年、中東地域初の日系商工会議所として設立されジェトロ・ドバイ事務所内に事務局があります。当日はジェトロ・ドバイ事務所より日本企業の進出状況等について講話をいただきます。



在ドバイ日本国総領事館

アラブ首長国連邦第二の都市にしてドバイ首長国の首都ドバイに設置されている。1981年に在ドバイ出張駐在官事務所が開設された後、1995年に在ドバイ日本国総領事館として開設された。ドバイ、シャルジャ、アジュマン、ラアスル・ハイマ、フジャイラ、ウム・ル・カイワイン各首長国を管轄している。当日は今西総領事から現地情報の還元とあわせ意見交換の場を用意する予定です。



ドバイ商工会議所 Dubai CHAMBERS



ドバイ商工会議所は、企業の活性化、革新的な付加価値サービスの提供、影響力のあるネットワークへのアクセスを通じて、グローバルプレイヤーとしてのドバイのビジョンを支援しています。2021年、アラブ首長国連邦副大統領兼首相兼ドバイ首長であるシェイク・ムハンマド・ビン・ラーシド・アル・マクトゥーム殿下は、ドバイ商工会議所を再編し、ドバイ商工会議所、ドバイ国際商工会議所、ドバイ・デジタル・エコノミー商工会議所の3つの商工会議所を設立し、ドバイ商工会議所の下で運営することを発表しました。当日は現地企業を招いて意見交換会を実施します。

ナキール社 Nakheel Properties

2000年に設立されたドバイを拠点とする大手不動産開発会社「Nakheel」。中東最大級の規模を誇り、住宅、商業施設、レジャー施設の開発を手がけるだけでなく、世界的な観光地としてのドバイの魅力を向上させる役割も担う企業のひとつです。Nakheelが手掛けた代表的なプロジェクトである「パーム・ジュメイラ」は、単なる住宅地ではなく、観光名所としても世界的に注目される存在となっています。視察ではパームジュメイラの展望デッキから全景を見学するとともに、開発の経緯等についてレクチャーしていただきます。



主な観光スポット

ドバイ

アル・ファヒディ歴史地区

Al Fahidi Historical Neighbourhood

オールド・ドバイの一角にある、歴史的建造物の保護地区。ドバイの街はここから始まったという説があるほど重要なエリアで、「ウィンドタワー」と呼ばれる風を利用した独特のアラビアンスタイルの伝統的な建築や装飾の建物が立ち並んでいます。ホテル、カフェ、モスクなどが点在しておりドバイの歴史と文化に触れることができます。



ドバイフレーム

Dubai Frame

高さ150m・幅93mの巨大な黄金の額縁。2019年には「世界最大の額縁」として、ギネスにも認定されました。フレームの上部は、ドバイの街を一望できるスカイデッキになっています。北側には歴史地区を、南側にはモダンなスカイラインを見渡すことができ、ドバイの過去・現在・未来の景色を眺めることができます。

ドバイメトロ乗車体験

Dubai Metro

レッドラインとグリーンラインの二つの路線からなるメトロ。ドバイの主要地域を結ぶ移動手段として、地元民や観光客にとってかかせない交通機関です。世界最長の全自動無人運転の鉄道システムとしてギネスにも認定されているレッドラインは、日本の三菱商事、三菱重工業、大林組、鹿島建設とトルコの企業の協業により、2009年に完成しました。



EXPERIENCE & DINNER



4WDで砂漠疾走体験 アルハディーラ Al Hadeerah

砂漠の中の屋外レストランでアラビアンナイト体験 高級ホテル「バブ・アル・シャムス・デザート・リゾート&スパ」が運営する屋外レストラン。砂漠に囲まれながらBBQなど100種類以上のブッフェをお楽しみいただけます。ホテルへの移動は4WDで砂漠を疾走！ディナー中はベリーダンスショーもご覧いただけます。



ブルジュ・ハリファ

Burj Khalifa

高さ828m・160階建ての世界最大の超高層ビル。砂漠に咲くスパイダーリリーを抽象化した構造と、世界一の総重量のアルミニウムとガラスが使用されたY字型のフロアーは、ドバイの工業技術の偉業とも言うべき建築物です。148階には世界で最も高い位置の展望台があり、急速に発展したドバイの街並みを見下ろすことができます。

ドバイ・ファウンテン

Dubai Fountain

長さ275m、高さ最大150mを誇る世界最大の噴水ショー。ドバイ観光では外せないスポットのひとつです。ショーで使用されるBGMは、オペラから誰もが知っている名曲からアラブ音楽など多種多様。音と光に合わせてまるで水が踊っているかのように見える噴水ショーは、見るたびに違った印象と感動を味わえます。



ドバイ・モール

Dubai Mall

世界一の高層ビル「ブルジュ・ハリファ」に隣接する、ショッピング、レジャー、エンターテインメントのすべてを楽しめる世界最大のショッピングモール。1,200軒を超えるショップ、2軒の外資系デパート、何百軒もの飲食店が集まっており、さらには世界一大きな水槽を有する水族館やスケートリンクもあります。敷地面積は何とサッカー場200個分の100万㎡です。

DINNER

BiCE Mare

ビーチェ・マーレ

噴水ビューが自慢のイタリアンレストラン
ドバイモールに隣接する“スークアルバハール”の3階にあるイタリアンレストラン。テラス席からは世界一の噴水ショー「ドバイファウンテンショー」が目の前に見える絶好のロケーション！息を呑むような景色を体験することができます。



Prime 68

プライム68

数々の賞を受賞したステーキハウス
「JWマリオット マーキース ホテルドバイ」の68階に位置する展望レストラン。壮大なパノラマビューを満喫しながら、世界中から厳選された最高ランクの食材で作られたステーキやシーフードのグリル料理が楽しめます。



エジプト



スフィンクス

Sphinx

ライオンの体に人間の頭をもつスフィンクスは、古代エジプトの神殿などでよく見られるポピュラーなデザイン。数あるスフィンクス像の中でも、ギザのスフィンクスは長さ57m、高さ20mもあり世界最大。古代においても砂に埋もれていましたが、新王国第18王朝のトトメス4世が掘り出したという記録が残っています。現在は、石灰岩の風化がかなり進んでいます。建造の目的は不明です。

エジプト考古学博物館(カイロ博物館)

Egyptian Museum

エジプトの首都カイロにある国立の考古学博物館で、通称カイロ博物館。収蔵点数は20万点にもものぼります。館内には、ツタンカーメン王の王墓から発掘された黄金のマスク、黄金の玉座をはじめ、カフラー王座像、ラムセス2世のミイラなど、古代エジプトの至宝が展示されています。



ギザのピラミッド

The Pyramids of Giza

ギザにある三大ピラミッドとは、古王国時代に絶大な権力をもったクフ王、カフラー王、メンカウラー王の3人の王が造った3つのピラミッドのこと。一帯からはピラミッドに付随する遺跡群も見つかっており、4500年前の様子を今に伝えている。謎に満ちた奇跡の建築を目の当たりにし、当時に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

LUNCH

クフズビストロ

KHUFU' s Bistro

3大ピラミッドを目の前にして食事をする事ができるレストラン。絶好のロケーションです！

エジプト料理と地中海料理の良さを融合させた味をご堪能下さい。



★★★★★

JWマリオット マーキース ホテルドバイ

JW Marriott Marquis Hotel Dubai

モダンな2つのタワーを組み合わせたスタイリッシュな外観

ビジネスベイ地区、シェイクザイド通り沿いのブロックに位置し、地上高355m72階建ての五つ星ホテル。アトリウム方式の高い天井が開放感のあるロビーは黒のフロントデスクを配し、オブジェや椰子が植わった心和む空間はシックスタイルを基調としています。客室は広々として質感のよい木目の家具を配置し、最新機器や便利なアメニティが揃い上質の住環境を提供。館内にはアラビア料理、イタリア料理、タイ料理、インド料理、日本料理「居酒屋」を含むバラエティに富んだレストランが10ヶ所、バー4ヶ所、ラウンジ2ヶ所があります。また、屋外温水プール、子供用屋外温水プール、スパ施設、フィットネスセンター、ツアーデスクも完備。大小26の宴会・会議施設はレセプション形式で最大2000名、分割可能な24のファンクションルームを完備しています。地下鉄レッドラインのビジネスベイ駅へは約1kmです。



ホテル基本情報

住所 ▶ Sheikh Zayed Rd. Business Bay Dubai, 121000

TEL ▶ (04)4140001 / FAX ▶ (04)1410000 / 部屋数 ▶ 1608室 72F

チェックIn ▶ 15:00 / チェックOut ▶ 12:00 / 開業 ▶ 2012年 / 改装 ▶ 2014年

アクセス ▶ ドバイ国際空港(DXB)より車で30分(20.5km)

客室設備

エアコン ▶ ○ ドライヤー ▶ ○ テレビ ▶ ○ お茶・コーヒーマーカー ▶ ○
 バスタブ ▶ ○ 直通電話 ▶ ○ 金庫 ▶ ○ キッチン ▶ ー
 シャワー ▶ ○ ボイスメール ▶ ○ ミニバー/冷蔵庫 ▶ ○ テラス ▶ ー

禁煙区分 ▶ 全室禁煙 / インターネット環境 ▶ 全室あり Wi-Fi 有線LAN

電圧・プラグタイプ ▶ 220V・Cタイプ ⓄⓂ

ホテル施設・サービス

和食 ▶ ○ ツアーデスク ▶ ○ クリーニング ▶ ○ 日本語スタッフ ▶ ー
 エグゼクティブフロア ▶ ○ コンビニ ▶ ー プール ▶ 屋外プール
 バリアフリー客室 ▶ ○ テニスコート ▶ ー ビジネスセンター ▶ 24時間利用可能
 宴会場・会議場 ▶ ○ ゴルフ場 ▶ ー ルームサービス ▶ 24時間利用可能
 フィットネス ▶ ○ バー ▶ ○ 駐車場 ▶ 無料
 サウナ ▶ ○ カジノ ▶ ー 空港間送迎サービス ▶ あり



エジプト

★★★★☆

シュタイゲンベルガー ピラミッズ カイロ

Steigenberger Pyramids Cairo

ギザの絶好のロケーションにあるホテル

ピラミッドを見渡すバンガロータイプのホテル。元々はビーチリゾートに馴染み深いモーベンピックが所有するホテルを、ドイツ資本のシュタイゲンベルガーが運営を手掛け、2019年にリノベーションが終わり新しく生まれ変わりました。ピラミッドまで3km、市街地まで25kmの距離に建っています。客室は広々として明るくエレガントなインテリアで揃えており、最新機器や無料WiFi接続など便利なアメニティも揃っています。テラスまたはバルコニー付で快適な環境を提供しています。食事施設はテラスを併設するレストランが1ヶ所、バーが2ヶ所あり、郷土料理をはじめ多彩な料理を味わうことができます。宴会・会議施設は1ヶ所、レセプション形式で最大350名収容可能です。



ホテル基本情報

住所 ▶ Alexandria Road, Pyramids P.O.Box 1 Giza / Cairo

TEL ▶ (02)33772555 / FAX ▶ (02)33775006 / 部屋数 ▶ 304室 3F

チェックIn ▶ 14:00 / チェックOut ▶ 12:00 / 開業 ▶ 1990年 / 改装 ▶ 2019年

アクセス ▶ カイロ国際空港(CAI)より車で30分(52km)

客室設備

エアコン ▶ ○ ドライヤー ▶ ○ テレビ ▶ ○ お茶・コーヒーメーカー ▶
バスタブ ▶ ○ 直通電話 ▶ ○ 金庫 ▶ ○ キッチン ▶
シャワー ▶ ○ ボイスメール ▶ ○ ミニバー/冷蔵庫 ▶ ○ テラス ▶ ○

禁煙区分 ▶ 禁煙客室あり / インターネット環境 ▶ 全室あり 無料Wi-Fi

電圧・プラグタイプ ▶ 200V・Cタイプ (☉☺)

ホテル施設・サービス

和食 ▶ — ツアーデスク ▶ ○ クリーニング ▶ ○ 日本語スタッフ ▶
エグゼクティブフロア ▶ — コンビニ ▶ — プール ▶ 屋外プール
バリアフリー客室 ▶ ○ テニスコート ▶ ○ ビジネスセンター ▶ あり
宴会場・会議場 ▶ ○ ゴルフ場 ▶ — ルームサービス ▶ 24時間利用可能
フィットネス ▶ ○ バー ▶ ○ 駐車場 ▶ 有料
サウナ ▶ ○ カジノ ▶ —





 United Arab Emirates
アラブ首長国連邦 - ドバイ

DUBAI



“魅惑のアラビアンリゾート”、そんな言葉が世界のグルメ、スパ、ショッピングが集結し、現実になってしまうミラクルシティです。常に話題となっています。広大な赤茶色の砂漠と夕暮れの真紅の太陽とのコントラスト。エキゾチックなアラビア文化薫る街並みとじっとしてられないほど心躍る珠玉のリゾートホテル。このようなリゾートは世界でもドバイだけです。

時差 | 日本との時差は-5時間。ドバイの方が遅れている。サマータイムはない。

アクセス | ドバイ国際空港(DUBAI INT'L AIRPORT:DXB)から13km

気候 | A 夏服・半袖 / B 薄手のセーター・カーディガン

C 冬服・薄手のコート / D 厚手のコート・手袋等の防寒具

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温(°C)	24	25	28	32	36	38	40	40	38	35	31	27
最低気温(°C)	13	14	17	19	23	26	29	29	26	22	18	15
降水量(mm)	17	28	13	8	0	0	0	0	0	0	5	16
服装	A/C	A/B	A/B	A/B	A	A	A	A	A	A/B	A/B	A/B

旅券 | 入国時6か月以上必要。

査証 | 30日以内の滞在は査証不要。旅券の未使用査証欄は見開き2頁以上必要。

通貨 | 1ディルハイム(AED)=100フィルス / 円換算 42.90 ※2025.02.21時点のレート



 Arab Republic of Egypt
エジプト・アラブ共和国 - カイロ

CAIRO

ナイル川東岸にイスラム文化を伝えるカイロ旧市街。シタデルや死者の町が広がるイスラム地区(旧市街)、カイロ発祥の地オールドカイロなどが歴史地区として世界遺産に登録されています。古代エジプト王朝の誕生から約4,000年後、イスラム教徒たちが築いた新たな都は、600以上のモスクと1,000ものミナレットが聳え立ち、「千の塔の都」と称えられ、学術、文化、経済を発展させ、アフリカ最大の都市へと成長しました。カイロ歴史地区はエジプト文明の薫りを感じさせない不思議な空間です。

時差 | 日本との時差は-7時間。カイロの方が遅れている。

サマータイム期間(2025/4/25~2025/10/30)は-6時間。

アクセス | カイロ国際空港(CAIRO INT'L AIRPORT:CAI)から15km

気候 | A 夏服・半袖 / B 薄手のセーター・カーディガン

C 冬服・薄手のコート / D 厚手のコート・手袋等の防寒具

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温(°C)	19	21	24	29	32	35	35	35	33	30	25	21
最低気温(°C)	7	7	11	13	16	19	21	21	19	17	13	9
降水量(mm)	5	3	2	1	0	0	0	0	0	0	3	4
服装	B/C	B/C	B/C	A/C	A/B	A/B	A/B	A/B	A/B	A/B	A/C	B/C

旅券 | 入国時6か月以上必要。

査証 | 必要。旅券の未使用査証欄は見開き2頁以上必要。

通貨 | 1エジプトポンド(EGP)=100ピアストル / 円換算 3.11 ※2025.02.21時点のレート